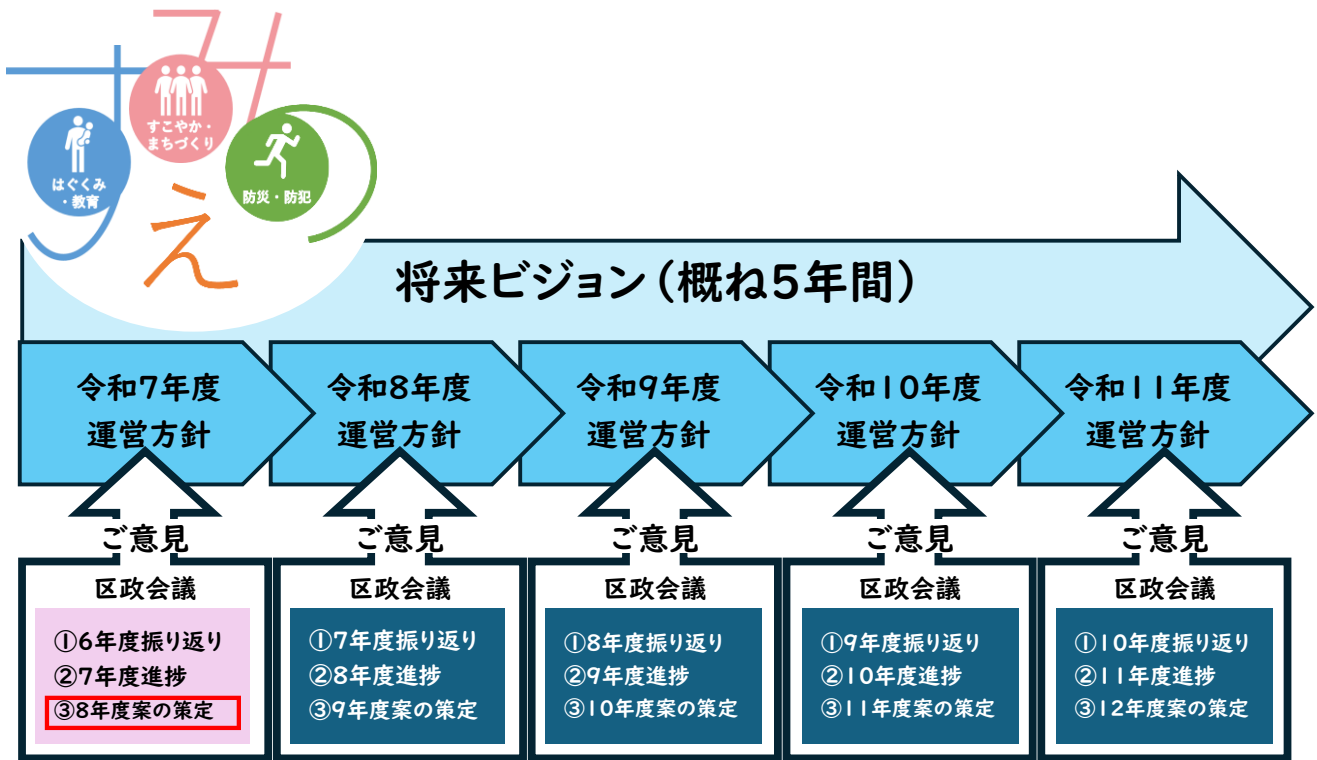


令和8年度住之江区運営方針(案)
について

令和7年度住之江区区政会議
第3回 防災・安全部会

目次

・住之江区将来ビジョンと運営方針について	P1
・ <u>令和8年度 住之江区運営方針(案)</u>	
└ 区の目標、区の使命、区運営の基本的な考え方	P2
└ <u>【経営課題3】 課題設定の根拠となる現状・データ</u>	P3~4
└─┬ <u>【めざす成果及び戦略3-1】課題認識、主な戦略、評価指標</u>	P5
└─┬└ <u>【具体的取組3-1-1・3-1-2】今年度の方向性、取組内容</u>	P6~7
└─┬ <u>【めざす成果及び戦略3-2】課題認識、主な戦略、評価指標</u>	P8
└─┬└ <u>【具体的取組3-2-1・3-2-2】今年度の方向性、取組内容</u>	P9~10
・ <u>付属資料</u>	P11~12



「将来ビジョン」とは…



詳しくはこちら

概ね5年後の住之江区がめざすまちの将来像と施策の方向性を明らかにし、区民の皆さまと一緒に進めるまちづくりの指針をとりまとめているものです。

住之江区では、令和7年4月に新しい「住之江区将来ビジョン」を作成しました。

「運営方針」とは…



詳しくはこちら

「将来ビジョン」で示された施策の方向性に沿って年度ごとの施策・事業の取組を明らかにする単年度ごとのアクションプランです。

「区政会議」とは…

区民のみなさまに区の取組を知っていただくとともに、取組の成果や課題などについてご意見・評価をいただく会議です。

令和8年度住之江区運営方針(案)

区の目標(何をめざすのか)

子どもから高齢者まで、住之江区で暮らし、学び、働くすべての人が、自分の将来に夢と希望を持って、地域への愛着や誇りを持ちながら、充実した日常生活を営むことができる「心から誇りに思えるまち、住之江区」をめざす。

区の使命(どのような役割を担うのか)

- ・区役所機能の強化～区民に寄り添う区役所をめざします～
 - 区民の視点に立った区役所サービスの提供
 - まちづくりの支援拠点としての機能の強化
- ・官民連携・情報発信の強化～活力ある地域社会を実現します～
 - 官民連携の強化による地域課題の解決
 - 区政情報・区の魅力の効果的な発信

令和8年度 区運営の基本的な考え方(区長の方針)

- ・子どもたちの未来のために、「安心して子育てができ、子どもたちが笑顔で育つまち」「子どもたちがいきいきと学び、成長していくまち」をめざします。
- ・すべての人がいきいきと自分らしく暮らせるために、「支え合い安心して暮らせるまち」「活力と魅力のあふれるまち」をめざします。
- ・安全・安心に暮らすために、「災害に強いまち」「防犯意識の高いまち」をめざします。

【3-1 災害に強いまち】

・住之江区では、大和川の氾濫、高潮及び内水氾濫による浸水、東南海・南海地震及び南海トラフ巨大地震による津波浸水が想定されている。

・南海トラフ巨大地震発生後、最短で1時間50分(110分)で1mを超える津波が大阪市に到達すると想定されており、波の高さは最大で5.1mとなっている。

・津波による死者・負傷者・重傷者想定数(早期避難率が低い場合)13,376名 (H26年1月大阪府南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会より)

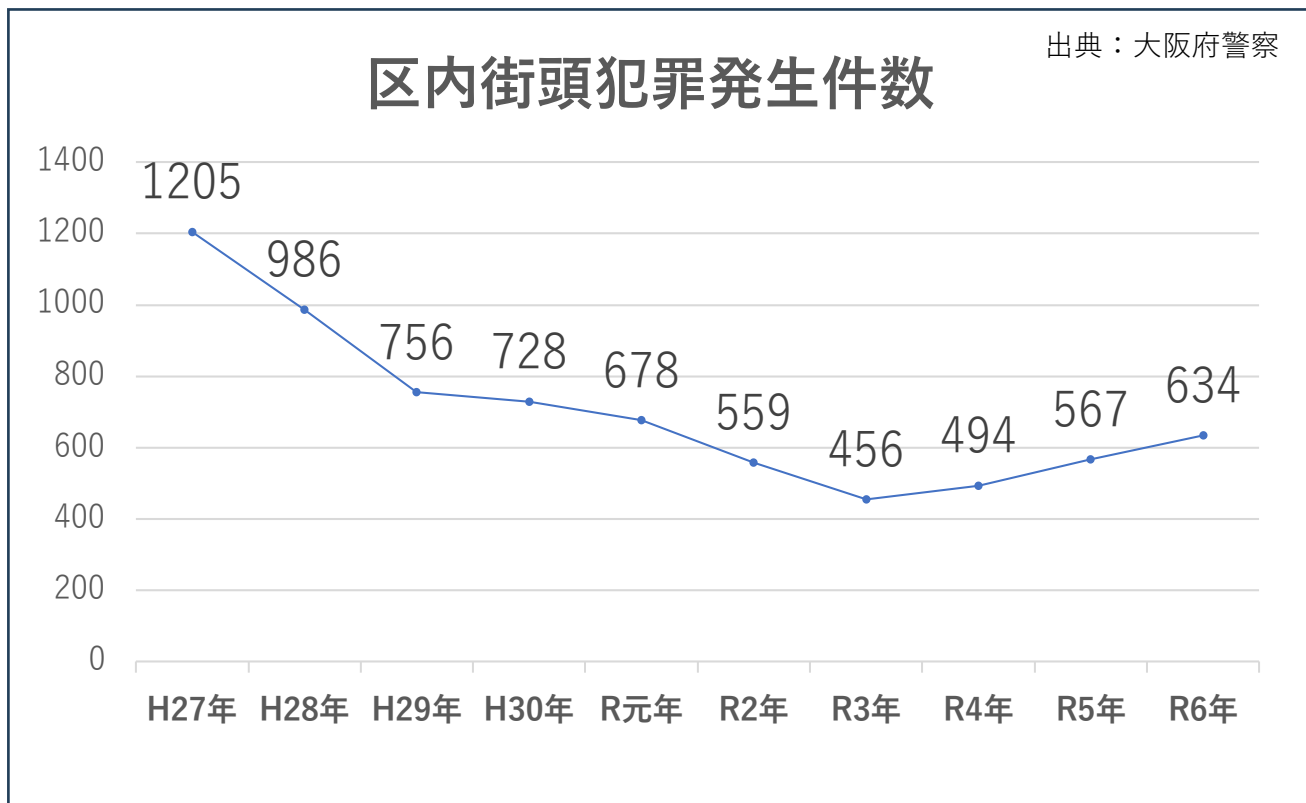
・各地域においては、概ね年に1回防災訓練を実施しているものの、参加者に偏りが生じている。

・令和7年度防災セミナー参加者アンケートにおいて、「お住まいの地域または家庭で災害による備えができています」の間に肯定的な回答をした割合 49%

住之江区の防災に関する取組実績	R6年度 実績	R7.12月末 現在
地域防災訓練実施回数	17回	12回
小中学校防災訓練(講座)実施回数	14回	15回
防災出前講座実施回数	15回	6回
地域防災リーダー登録者数	350名	411名
防災パートナー登録件数	18件	25件
津波避難ビル協定件数	46件	48件

【3-2 防犯意識の高いまち】

・区内の街頭犯罪発生件数は、令和3年までは減少傾向にあったが、令和4年以降は年々増加しており、令和6年は634件であった。



経営課題3 安全・安心に暮らすために



●めざす成果及び戦略

6決算額	10,704 千円	7予算額	14,524 千円	8予算額	14,524 千円
------	-----------	------	-----------	------	-----------

3-1 災害に強いまち

【めざす状態】

大規模地震や津波、水害等の自然災害に対し、自助・近助・共助・公助による備えのできた防災力の高いまちをめざす。

課題認識

- ✓阪神・淡路大震災では自力脱出困難者の大多数は家族・近隣住民に救出された。能登半島地震においても自力脱出が困難な要配慮者への支援が課題であった。こうしたことから「自助」「近助」に対する一層の意識の向上が必要である。
- ✓地域防災訓練や防災出前講座、地域防災リーダー研修等の充実を図り、自助・近助・共助による防災力の向上と多数の人材育成により一層取り組む必要がある。
- ✓避難場所の拡充と避難所での物資の充実、避難所の所在を分かりやすく示す表示板整備など、減災のための環境を一層整備する必要がある。

主な戦略

- ✓災害への知識を深め事前に備えることで、一人ひとりが災害に対応できる、自助・近助・共助による防災力を高める。
- ✓災害時に身の安全が確保できる避難場所の拡充を図るとともに、一人ひとりが避難行動を円滑に行えるよう、環境を整える。

評価指標と達成状況

✓令和11年度末までに、防災セミナーへの参加者数の合計

令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(実績)	目標値
—	—	111人	延べ500人以上 (年間100人以上)

● 具体的取組

3-1-1 自助・近助・共助による防災力の向上と圧倒的多数の人材育成

今年度の方向性

✓引き続き、出前講座や訓練説明会等の機会を捉えて周知を行う。

取組内容

✓防災意識の向上に向け、町会や自主防災組織をはじめ、学校や民間企業等の幅広いコミュニティ層に対して、研修や出前講座を行う。

✓地域防災力向上に向け、防災アドバイザーを活用した地域防災訓練等の支援、地区防災計画の改訂支援を行う。

✓ハザードマップや避難カードの活用方法について啓発し、自らが作成した後、近所や地域の方へ避難カードやマイタイムラインの作成を促せるような「近助」の防災力が向上する取組を行う。

✓「在宅避難」「分散避難」など、災害の種類や規模、感染症の対策等その時の状況に合わせた避難方法を選択できるよう啓発を行う。

成果指標	目標	中間実績	最終実績
防災訓練の実施回数	14回		

● 具体的取組

3-1-2 減災のための環境整備

今年度の方向性

✓ 企業・NPO・学校・地域交流会の場を活用するなど、協力いただける企業等の拡大に努める。

取組内容

✓ 津波避難ビル等の避難場所や備蓄物資の充実を図るとともに、地域貢献を行う意思を有する企業・事業所、NPO・ボランティア団体等に災害対策に必要な協力を行っていただく「防災パートナー」の増加に向けて啓発し、依頼を行う。

✓ 災害時避難所の表示板等の設置・修繕を行う。

✓ 個別避難計画作成支援や中学校防災授業など、地域と連携した持続可能な仕組みづくりを行う。

成果指標	目標	中間実績	最終実績
防災パートナーの新規登録件数	2件以上		

経営課題3 安全・安心に暮らすために



●めざす成果及び戦略

6決算額	2,291 千円	7予算額	4,989 千円	8予算額	5,312 千円
------	----------	------	----------	------	----------

3-2 防犯意識の高いまち

【めざす状態】

ひったくりや路上強盗、特殊詐欺等、犯罪のない安心して暮らせるまちをめざす。

課題認識

- ✓各種キャンペーンや出前講座などを通じ、増加傾向にある特殊詐欺などの巧妙化する犯罪手口に関する情報の普及や注意喚起など、防犯意識向上に向けた意識啓発を、より一層進める必要がある。
- ✓青色防犯パトロールカーの巡回やキャンペーン活動、防犯カメラの適切な維持など、街頭犯罪防止のための環境整備に引き続き取り組む必要がある。

主な戦略

- ✓還付金詐欺、オレオレ詐欺などの特殊詐欺等の犯罪やひったくり、路上強盗などの街頭犯罪に対する正しい防犯知識の普及と防犯意識の醸成により、犯罪を寄せ付けないまちづくりを進める。
- ✓警察などの関連部署や地域との連携のもと、みんなの目が行き届いた、犯罪が実行されにくい安全・安心なまちをめざす。

評価指標と達成状況

- ✓令和11年度末までに、特殊詐欺の被害防止並びに街頭犯罪の抑止のキャンペーンにより啓発した人数の合計

令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(見込)	目標値
—	—	2,400人	延べ12,000人以上 (年間2,400人以上)

● 具体的取組

3-2-1 防犯意識の向上に向けた啓発

今年度の方向性

✓ 様々な世代の区民に知ってもらう機会を充実させる。

取組内容

✓ 特殊詐欺に狙われやすい高齢者への対策として、金融機関や商業施設等を訪れた高齢者に特殊詐欺被害防止の呼びかけと、啓発内容を掲載したチラシ等を配布し、特殊詐欺被害を未然に防止するための取組を行う。

✓ 警察と連携しながら、特殊詐欺被害防止録音機の貸与を行う。

✓ 防犯意識の向上に向け、安まちアプリの情報を元に、防犯出前講座等の機会を捉え、大阪府内で発生した特殊詐欺の手口や住之江区内で発生した犯罪事案の注意喚起を行う。

成果指標	目標	中間実績	最終実績
街頭キャンペーンの実施回数の合計	12回		

● 具体的取組

3-2-2 街頭犯罪抑止のための環境整備

今年度の方向性

✓ 様々な世代の区民に知ってもらう機会を充実させる。

取組内容

✓ 青色防犯パトロールカーなどにより、安まちメールで配信のあった情報をもとに、巡回強化ポイントを設定し、地域の巡回パトロールを実施する。

✓ 区役所や商店街などで、ひったくり防止カバー取付キャンペーンを実施する。

✓ 区役所管理の防犯カメラについて、巡回時の目視点検や業者委託点検により、適正な維持管理を行う。

成果指標	目標	中間実績	最終実績
ひったくり防止カバー取付キャンペーンの実施回数の合計	12回		

【3-1 災害に強いまち】

■中学校での防災人材の育成

中学生やその保護者世代の方々が防災への備えと知識を持ち、ご近所とつながり、災害時に行動できる人材を育成・支援(中学校と地域の連携した防災まち歩きや避難所開設訓練の実施、防災授業)します。

令和7年度実績:区内全7市立中学校で実施



■防災出前講座の開催

地域防災力の向上を目的に、町会や地域団体、企業等を対象に防災出前講座を実施しています。職員がお伺いし、防災について分かりやすく説明します。

令和7年度実績(R7.12月末現在):6回

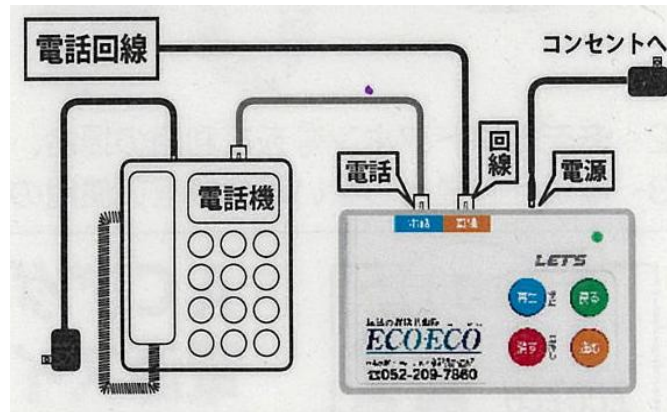


【3-2 防犯意識の高いまち】

■特殊詐欺被害防止のため、「自動通話録音機」を無償貸与

特殊詐欺の犯行手口として最初に用いられる手段は、自宅の固定電話に電話をかけることがほとんどとなっています。通話録音を活用することで、犯人からの電話接触を極力なくすることができることから「自動通話録音機」が特殊詐欺被害防止に有効です。

令和4～7年度貸出件数 住之江区412台 大阪市10,660台(住之江区含む)(令和7年12月末時点)



■防犯啓発

商店街等での、街頭犯罪(特殊詐欺やひったくり等)に関する注意喚起や、ひったくり防止カバー取付キャンペーンの実施など、まちなかで効果的な啓発を実施しています。



■青色防犯パトロールカー

安まちアプリで通知のあった情報をもとに、巡回強化ポイントを設定し、パトロールを実施しています。



防犯マップの表示例